

日刊 發行所 常磐毎日印刷所
 本社 同前地 (電話六三〇番)
 印刷所 同前地 (電話六三〇番)

常磐新聞

刊夕日四十月四

社會の……
 重要なる一員
 高橋虎雄

(三)

「何かお氣に入らぬ事があり、今日この私に免じ御機嫌を直して下さいます。どうぞ、どうぞ」と云つて居るのではありません。私はその恰好のしほらに動かされ、その心根に報ゆる為め、破顔一笑しない譯には参りません。と云はぬばかりに、私に飛びついた後、如何にも勝ら誇つた態度でその趣

を階下の家内に知らせに走るのであります。斯くして私の氣分は一掃されて愛犬のお蔭で元氣よく次の仕事にかゝる事が出来たのであります。西洋に於きましても愛犬によつて多大の慰めを得て居る人は澤山御座います。彼の「フランダースの犬」其他の名著を遺した英國作家ウイグダの如きも、もし愛犬の慰めが無かつたらしたら多分英國政府から年金を受けなかつたであらうと思はれます。又白耳義文豪マータリンク氏も大の愛犬家で同氏の愛育した數多き犬が意

想外に多く同氏の作品を助けて居ると私は信ずるものであります。又常に社會の壓迫を感じて居らるゝ多くの労働者の方で、家に歸つても誰れ一人温かく「お歸りなさい」と云つて呉れる人もない「淋しい人々」が宿無し犬を友とすることに、よつて、どの位さんだ感情が緩和されるでせう私に此點から考へますと犬は立派な一つの社會力であると思ふべきです。こゝに至つて「社會の重要なる一員」と云ふランドン氏の古い平凡な畫題が一層の光を放つ様に思はれます。(をばり)

◎昭和今春の流行
 婦人洋傘
 春帽子各種
 驚く可き!
 春ワイシャツの
 特價物(一圓二十錢
 二圓五十錢)
 賣切にならぬ中に
 平町四丁目(電話二四〇番)
鶴屋洋品店

春の御仕立
 小紋金紗
 本セーブル
 帶皮地
 モス着尺
 各種豊富に取揃へ申候
三井吳服店
 電話三十八番

神戸海上運送保險株式會社
 東洋海上火災保險株式會社
 共保生命保險株式會社
 平代理店
 貨家部案内
 平町仲間町 勤人向
 一〇、〇〇〇 六、六、三、ノ三間
 同 柳町 同 六、六、ノ二間
 同 七、五〇 同 六、六、ノ二間
 同 六、〇〇 同 六、四半ノ二間
 同 六、〇〇 同 六、六、ノ三間
 同 八、〇〇 同 六、六、ノ三間
 同 其他風呂場物置附
 同 八、五〇 同 六、六、ノ三間
 同 四間其他風呂場物置附
加藤營業所
 白銀町 電話三二二番

買イ好イ店
 良品ヲ安ク賣ル
 クーナーリ
関内藥舖
 蒸和師関内栄助
 電話四〇番

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
 平南町(電話一七〇番)

印半天専門
 優秀品の証明
草野染工場
 電話二四八番
 磐城 平町

健康を唄ふ春
 春を歌ふ藥酒
 然り、健康なればこそ三春の行樂亦一入なれ、即ち、朝の一杯にて血を増し、夕の一杯肉を肥して元氣健康を増進する、藥酒粟守酒こそ常に吾人が青春の泉として推奨に客ならぬ所以、
 平町一丁目
粟守酒特約店 大平屋藥店
 電話六四二番

園藝に親しむべき春が来ました
 美しく、新らしい、草花の
 種子と球根 を御用意下さい
 園草花種子……………一袋十錢
 園球根グラチオラス一袋二十五錢
 ターリヤ……………同
 目丁四町平
ヤトモツマ園藝子種部
 番四一二話電

齊藤榮治儀
 右弊商會ノ電氣見習トシテ使役致シ居リ候處今般都合ニ依リ去ル四月十一日限り解備仕り候間今後同人トノ關係ハ一切無之ニ付キ御了承被下度候
 四月十二日 平町字鍛冶町二九
平電業商會

天賦之滋養
 愈々新蜜發賣豫告
 四月末日頃 本年の新らしい蜂蜜が出来ます
 春は花……健康に蜂蜜……
 左の販賣所に御用命願します
 五丁目 山野邊藥局
 田町 金子屋酒店 蜂室 石城養蜂場
 土橋小路 大須賀商店 蜂室 石城養蜂場
 南土橋 大森商店
 町 龜山酒店
 平町 杉平

花は櫻木
 料理はイワキ
 平町紺屋町(縣社通り)
 評判イワキ食堂
 オの部電話四六〇番

南部鐵瓶 月賦 御便宜ニ致シマス
 ホーキン爐カギ 大中小…精巧優美
 各種…ナ作デス
 南町廿九番地
南部屋

本邦噴霧器界の權威
 舶來品に優る堅牢無比
牛田式噴霧器 各種
 理化學研 果樹藥劑部
 究所新製 ネオトシ 原藥
 新人荷 石灰窒素肥料
 ◎ネオトシ、石 平町二丁目
 灰窒素說明書御 申越次第進呈
西村屋藥舖
 電話三三番

町平紺屋町
吉田眼科醫院

扇風機の故障から 入山炭礦に爭議起る

會社側と組合側とが... 入り亂れて闘ふ

石城郡湯本町入山第五坑の通風用扇風機は去る七日來故障を生じ運轉を中止するに至つた、是れが爲め坑内の通風が完全に行はれず瓦斯が発生して人命にも關する事になるのである十一日午後八時坑夫組合側は會社側に對し一時休業を望む而して其間の手當を支給して欲しいとの要求に基いて交渉を開始した、然るに會社側から拒絶されるに至り同夜より組合側の示威運動が始まつて是れを静しやうとした會社側の中島外一名は袋叩きにされて負傷し會社側は組合側の十五名を告訴する事となつた、此事が導火線となつて今度の爭議の幕は切つて落されたのである、

四名が袋叩き

何れも負傷す

十三日午前十一時頃坑夫組合員約五十名は第四坑に入坑せんとする労働者に向つて盛んに是れを阻止する運動を試みて居たが此事を聞いて駆け付けた警務係を管野大重、瀬谷駒吉、高橋勇五郎、奥澤八百松の四名が組合員に解散を迫つた爲め小競合を生じ右の四名を根棒其他の兇器にて散々殴打し二週間乃至三週間に亘る傷を負はせ凱歌を擧げて逃げ散つた

警戒本部を 湯本町に設く

入山炭礦の爭議悪化の傾向

入山炭礦の爭議悪化の傾向を帯ぶるや平警察署にては昨夜より湯本裏町備中屋に本部を設けて樺村署長以下

入山の爭議悪化し 今朝遂に流血の慘

組合側二名類死の重傷 修羅の巷物凄し

今朝七時頃會社を擁護する立國労働自治會員數十名は八仙地内の第五坑々夫長屋を歴訪し各自に對し決して組合側の煽動に乗せらるな

説得し 廻つて居た

爲め組合側の激怒を招き自治會員對組合員は隨所に亂闘を演じた結果遂に組合側の太田丈三郎(三)は何者にか鋭利な短刀を以つて瀕死の重傷を負はされ同じく大森初之助(三)も全治三週間の重傷を負ふた外

敵味方 共に多數の

重傷傷者を出すに至り急行した警察官との間にまん字

部補以下の警官は現場に急行して其鎮壓に努めて居る組合幹部が

大舉來山す

兩者の對策

日本坑夫組合湯本支部にては十三日夜常警各支部の來山を得て爭議の策對を協議したが秋田縣尾去澤の労働爭議に出張中であつた本部幹部が同爭議解決せりとて直ちに大舉來山の報を得雀躍して喜んで居る右に對し會社側も既に相當の對策を構じて居るもの如くである

ある「扇風機は故障の爲めに中止したとしても自然通風に依つて毎分八萬立方尺の入氣量があるから組合員の云ふ如く毒瓦斯が発生して作業に多大の支障を來すが如き事は絶対にない保安上少しも心配はない殊に故障の箇所も十六日迄には復舊して

治諸氏の熱烈な演説があつた
會社は
吾々を虐める
組合側の談

毒瓦斯

が留まり甚だ危険でありますから入坑中止の嘆願をしたのであります處が會社側では頭から我々を馬鹿にして誠意ある回答をなかつたので、そして會社側は暴力を揮つて吾々を虐めます、昨十三日の晝四坑方面に演説の廣告を爲すべく選炭場附近に差かゝると自治會と稱する

募集

文藝其他投稿を募集します

會社の

組合が現れ吾が組合員大森八之助君をプチのめして重傷を負はしました、それに十二日夜にも數名の負傷者を出すに至りました」との事である

宣傳は眉ッパだ

會社側の談

右爭議に關し會社側當局の語る處は左記の如くである



鹽の効用

毎朝コップ一杯の鹽水は簡單な便通劑。コップに五分の一ほどの鹽を入れ湯湯を

加へるとうがひの水が出来あがる。怪我して出血の多い時、鹽を創口につけて強く縛り少したつてから温湯で洗ひ硼酸末をつけるとよい。腹などを温める時のコンニャクは鹽水から煮立て、行くと長く冷めぬ。石炭に食鹽をまぜておくともよくもつ、卵をゆでる

春前に雨多くして 花の開くこと速し

この本文にある通り

見頃は十六七日頃

長い冬眠の忍苦から今や一切解放の春が訪れた、野にも丘にもまた街にもほんのりと朝霞がたなびき、薄化粧した櫻の微笑がそこそこから洩れて來てこゝしばらくは

野外行樂

の世界である、櫻では名にし負ふ平町松ヶ岡公園や新川畔の櫻も今年遅れるだらうと誰もが心かけてゐたことであつたが「春前に雨多くして

幾分早く

花の見頃が來て十六七日頃が花見の絶好機となるであらうが樹間を彩るぼんぼりや提灯の裝飾等は昨夜始めて試験點火され今晚からは全くの不夜城と化さしむべく三春行樂の人に心ゆくまで櫻花の

模範の共同耕作

玉川村の下 坪實行組合

石城郡玉川村の大島字下坪農事實行組合十二戸の播種から收穫までの共同作業は同郡の模範と稱されて物質

長女を刺し殺し

返す刃で自殺を圖る

昨日川前村の慘劇
海軍ナイフを揮つて長女ツメヨ(三)の咽喉部を刺し即死せしめ返す刃を自分の咽

個人消息

新田目善次郎氏(辯護士)令嬢マツ子嬢が相馬郡金房村帝大獨逸文科卒業の文學士平田良衛氏に嫁ぎ、近く孫の顔も見られるとホクホク喜んで居る

聞(支局長)令兄名古屋稅務署庶務課長柏木諄氏の文子夫人が逝去した爲め同地に急行滞在中であつたが昨夜歸平した葬儀は郷里湯本町にて執行される筈だが日取りは未定